

# 第126回LC研究懇談会

日時:1998年7月13日(月) 13時~17時45分

会場:東京理科大学記念講堂(1号館、17階)

[東京都新宿区市谷田町3-21-6、電話:03-3260-4271、交通:JR総武線「飯田橋」駅下車 徒歩4分]

## 講演主題:最新のLC-MS、LC-MS/MSの現状とその成果

### 講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)

((財)化学品検査協会)赤星 竹男

2. LC-MSによる生体試料中微量薬物の分析 (13:05~13:45)

(日本化薬(株))橋本 豊

3. 卓上型二重収束LC-MSを用いたグルクロン酸抱合型胆汁酸の分析 (13:45~14:10)

(日本電子(株))高橋 豊

4. ハイブリッドMS/MS装置Q-TOFTMの応用例 (14:10~14:35)

(日本分光(株))鍵 紀子

5. 日立M-8000型LC/3DQMSの機能と応用例の紹介 (14:35~15:00)

((株)日立製作所)永井 伸治

6. Perkin Elmer Sciex社製LC-MS/MS新モデル API-3000, API-2000の紹介 (15:10~15:35)

(宝酒造(株))川瀬 靖聡

7. 四重極形LC-MS(QP-8000)による揮発性化合物の分析 (15:35~16:00)

((株)島津製作所)河野 慎一

8. クロスプレーイオンソースの特性 (16:00~16:25)

(横河アナリティカルシステムズ(株))今野 靖

9. ESI/TOFの実際とLC-MSへの応用例 (16:25~16:50)

(日本パーセプティブ(株))福田 正史

10. Thermo Quest社 LC-MS, LC-MSnシステムの紹介 (16:50~17:15)

(サーモクエスト(株))生澤 英典

11. LC-MSの可能性 (17:15~17:45)

**参加費**(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、分析化学会・共催学会会員:2,000円、その他:3,000円(当日受付にてお支払い下さい)、学生は無料。

共催学会等:日本化学会, 日本薬学会, 日本食品衛生学会

---

**カタログ展示**

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

---

**懇親会**

講演終了後、講演終了後、講師を囲んで立食パーティー形式の懇親会を開催します。会費:1,000円

---

**申込方法**

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

**申込先**

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号  
(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会  
[電話:03-5487-2790、FAX:03-3490-3572]

---

[LC研究懇談会情報ページへ戻る。](#)